

うきもよう

市内の“あれこれ”をご紹介します

皆さんとの
出会いに感謝
しています

2月末で
3年間の任期
を終えました



地域おこし協力隊
宮川 瑞代 さん

見た！聞いた！
地域の魅力再発見！

コメント
2月末で地域おこし協力隊の卒業を迎えました。皆さんとても気さくで楽しく活動できたのと同時に、多くの方に支えていただき感謝の絶えない3年間でした。本当にありがとうございます。
皆さんと一緒に取り組んだコロナ禍での飲食店応援や新しい観光を意識したサイト、宇城市産柑橘を使った商品開発などで地域に貢献できていたらうれしいです。
これまでの縁を大切にしながら今後も宇城市で「UKI AROMA」を継続し、活動していきます。応援よろしくをお願いします。

広報特派員や
地域おこし協力隊が
市内で起きた出来事を
伝えます。

飲食店応援
コロナ禍の飲食店を応援する「宇城テイクアウト」。SNSを使って情報発信し、飲食店の営業を支援しました。



新しい観光サイト
ウキトリップ「Uki trip」を企画。サイトを立ち上げました。アンバサダー制度を導入し、市内の最新情報を次々と投稿してもらっています。



市内の魅力発信
宇城の知られざるヒト・モノ・コトを宇城市観光物産協会のSNSで数多く発信。



特産品を使った商品開発
「UKI AROMA」では、地域と連携したアロマ商品を展開。
HP Instagram



今月は
小川のむかし話 荻萱橋

父恋しさを募らせた石堂丸が母と旅を重ね、高野山で父と再会した有名な説話があります。その父とは800年ほど前、九州6国の国守だった加藤左衛門尉繁氏。繁氏は世の無常を悟って高野山へ入り、荻萱道心と改名し修行していました。それを知らない道心の母は、子の行方を探して往來の激しかった今の小川町に關所を設け、通行人の顔を確かめていました。やがて、筑前からの知らせで、高野山にすることが分かる、母はこの地を引き払い、帰っていったといわれています。
この地の人たちは、母が小川に住み親しんだ記念として、關所を設けて架けた砂川の橋を、荻萱橋と呼ぶようになりました。そして、上荻萱や下荻萱という地名は今でも親しまれています。

後世に残そう。
地域に伝わる
おとぎ話の世界。

イラスト／村上明日香
(不知火美術館 学芸員)

空き家対策 おうちくん・バンクくん・わたしの

まちがいさがし

空き家バンク

求ム！
空き家情報
21ページ必見

おうちくん

バンクくん

わたし

イェカツ 春は家活♪

7つのまちがいをみつけてね。答えは27ページ。

市民投票

あなたは
どっち？

アウトドア派 177票 43%

インドア派 237票 57%

ちなみに
選ばない！ 32票

PICK UP

吉本さん家族
-小川町-
圭佑さん 28歳

美咲さん 29歳
悠季さん 1歳

録画しているプロレスや動画配信サイトでアニメや映画を見ている。

次号の対決
エイプリル Fool、あなたはどっち？
「うそつく派 / うそつかない派」
回答は市公式LINEやメール、お便りです。
回答期限 3/11(金) 市公式LINE

心と暮らしを豊かに
木の香りに包まれる工房。ずらりと並ぶ木材の奥には家具職人、木村俊昭さんの姿。豊野町のウッドワークスツリーでは、一人一人の暮らしに寄り添うオーダー家具が作られている。木村さんの原点は、中学生の時に目にした1枚のポスター。世界の名作椅子がずらりと並ぶ姿に心を奪われた。

「美しい形。作ってみたい。」
その想いから、やがて職人を志すように。東京や熊本の家具メーカーで15年ほど腕を磨き、「本当に喜ばれ、ふと目に入ったときに良かったなあと、思ってもらえる物を届けたい。」と、昨年独立。お客さまの希望や好みを具現化し、生活に溶け込む物を心を込めて作り上げる。世界に一つだけの家具は人々の暮らしを優しく豊かにする。



ウッドワークスツリー
Woodworkstree
豊野町山崎126
☎090-6892-5922
9:00~18:00 不定休

1 鉋掛けは平らに滑らかに
2 新図書館で使う本棚の組み立て
3 木製フレーム

手仕事と暮らし

ものづくりをする手から生まれる作品は暮らしを心豊かに彩る。そんな命を吹き込む手仕事を紹介します。